

建替え委員会だより 28のギマンを突く！

またもや“でっち上げ”！ アンケートの結果操作で建替え誘導！

もはや、市浦にコンサルタントの資格なし！

居住者（区分所有者）のみなさん！

理事会は、「建替え委員会だより」 28(5/2付)で、今回のアンケートの集計結果を公表しました。「条件が整えば賛成を入れると、建替えに賛成が約70.5%、……」と強調しています。

しかし、これは、事実でしょうか？

アンケートの設問は、{ 1 . 賛成 2 . 反対 3 . どちらとも言えない } の3つの中から選ぶものでした。結果は、「建替えに賛成」49.9%、「建替えに賛成できない」19.7%、「どちらともいえない」9.8%です。

このように、そもそも「条件が整えば賛成」などという項目は、最初から、無かったのです。こんな、デタラメな集計が、許されるものでしょうか？

本来、アンケート結果とは、予め設定された設問についてのみ、分析評価するはずのものです。自由回答の中から、勝手に操作するのは、常識を逸した行為です。

これは、「建替えに賛成」の少なさに、強引に、賛成数を膨らましたもので、組合員を愚弄するものです。5月29日の総会を前に、今までの「建替え意識誘導キャンペーン」の仕上げとして、恥知らずな行為にでたものでしょう。

建替えの根拠としている2004年2月のアンケートも、「10年以上先に着工」をも含んだ賛意であり、しかも「一括建替え」に至った理由も明らかにしないまま、理事会・建替え委員会の合同会議で「一括建替え」を決したと、強弁しているにすぎません。

理由を表記したと称している「建替え委員会ニュース」 8(2004/12/28付)から、読み取れるものは、「部分建替え」の困難さから、安易に「一括建替え」を建設業者に「丸投げ」しただけのものです。

今、理事会は、あたかも「一括建替え」のみが合意の如く宣伝を繰り返していますが、そのような事実も根拠もありません。

アンケートの操作で、建替えの賛意が、前回で54%（回答数 804）、今回は、そのまま評価すれば、49.9%（回答数 720）あったということだけなのです。

ですから、今、必要なことは

根拠の無い「一括建替え」を排し、「建替え問題」を一旦、白紙に戻し、住民合意を最大限追求することです。これが、経済的理由も含めて「建替え」に参加できない人、反対の人を、この団地から、強制的に「追い出す」ことのない唯一の方策なのです。

理事・建替え委員に問う！

あなた達の大部分の方が、自ら進んで、その任に就いたものでないことを、充分承知している上で、問いたい！

昨年11月以来、理事会は、「一括建替え」のみを、方針とし、その意識誘導のため、説明会、懇談会、アンケート、チラシ等、あらゆる手段を総動員してきました。

あなた方が、合同会議等の場で、理事長・コンサルタント市浦の前に、“沈黙”して、“押し切られた”としても、結果として、理不尽な「一括建替え」キャンペーンに手を貸した事実は消えないでしょう。その責任は、自覚すべきです。

再考していただきたい。私たちは、道理なき、説明なき「一括建替え」を排し、方針を白紙に戻して、住民合意を追求すべきと主張しているのです。

建替え委員会だより 30で「戸別訪問協力へのお願い」がだされました。

少なくとも、総会を前に「賛成でない」を狙った戸別訪問などすべきではないでしょう。

バブル時の「夜がけ朝がけをした地上げ屋」の姿と重なってきます。

みなさん！

5月29日の通常総会に、ぜひ参加して、

この理不尽な「一括建替え」に反対の声を！ 参加できない方は、
「議事に関する書面議決権行使書」に反対の意志を！

2005年5月18日

『住み続けるための建て替えを考える』会

「考える会」のホームページ（HP） 新たに開設しました。

<http://www.geocities.jp/fujikan27/>

